

西東京市立ひばりヶ丘中学校が完成・開校しました。

CONCEPT

「生徒たちの昼間の家」と「学び街」

東京郊外の新興住宅地に位置する本校を設計するにあたり、校舎を5つのゾーンで構成しボリュームを分節することで、周辺敷地との調和と生徒のための空間創造の両立に成功しました。普通教室ゾーンを「生徒たちの昼間の家」、特別教室ゾーンを「学びの専門店街」と称し、それぞれ「木」と「コンクリート打放し」が作り出す特徴的な空間も、本校の見どころです。

緑豊かな公園に面した北向き教室配置

敷地北側の公園の心地よさを引き込むと同時に、集合住宅とのプライバシーを確保できる教室配置を考えました。公園に面した窓を最大限大きくする工夫を凝らし、豊かな学習空間としました。

用途転用を見据えた設計(小学校から中学校)

本校は、竣工から2年後に、小学校から中学校へ転用されることが決まっています。階段の蹴上高さの工夫等、きめ細かな設計を行うことで、転用時の改修を最小限にしました。



外観 中庭



北側採光の普通教室



公園に面した窓



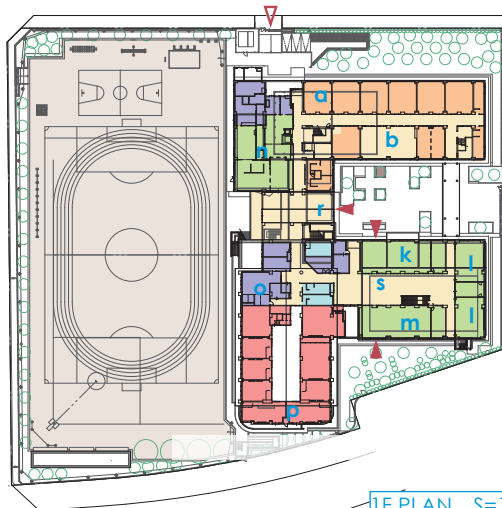
大階段

PLAN

- 凡例
- 普通教室・生徒生活諸室
 - 特別支援学級
 - 特別教室
 - 体育施設
 - 管理諸室



- a. 普通教室
- b. 多目的スペース
- c. 職員室
- d. 音楽室
- e. 図書室
- f. 美術室
- g. PC室
- h. アリーナ
- i. ステージ
- j. 渡り廊下



- k. 技術室
- l. 理科室
- m. 家庭科室
- n. 調理室
- o. 保健室
- p. 特別支援学級
- q. 中庭
- r. 昇降口
- s. ホール

- ▶ 出入口
- ▶ 出入口: 車両

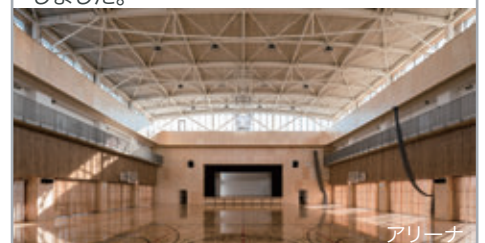
写真: 山内紀人写真事務所

DATA

敷地面積	: 14,265.08㎡
建築面積	: 4,587.82㎡
延床面積	: 10,148.06㎡
建ぺい率	: 32.16%
容積率	: 70.96%
構造・規模	: RC造、S造
	: 地上3階
最高高さ	: 18.51m
軒高	: 17.32m
階高	: 4m
天井高さ	: 2.6m、3.0m
主なスパン	: 5.7m×7.5m
設計期間	: 2015.04~2017.02
工事期間	: 2017.06~2019.03

TOPICS

下階の音環境に配慮した床構造の提案敷地を有効利用するためアリーナを2階に配置しました。アリーナの下階には音に敏感な生徒も使用する特別支援教室が配置されていますが、音振動を抑制する「ワッフルスラブ構造」と「防振浮床」を採用することで、L-30を満たす快適な環境を実現しました。



アリーナ

▶ <http://www.nissoken.co.jp>